

いばらき県北地域 ものづくりDXコミュニティー構築事業 のご紹介

公益財団法人 日立地区産業支援センター コーディネーター 安藤 敏之

公益財団法人 日立地区産業支援センター



♬ 田立地区産業支援センターについて

(公財) 日立地区産業支援センター (<u>Hi</u>tachi Regional <u>T</u>echnical <u>S</u>upport Center 通称HITS)

日立市に位置し、地域産業の高度化・活性化を支援することを目的に設立された中核的拠点施設

∼ HITSにおけるIoT・DX事業の歴史 ~

設立 平成10年10月

平成30年度 中小企業向けのIoT導入支援事業をスタート

導入診断~課題発見~概念検証(PoC)を基本とした

伴走型支援(ハンズオン支援)

「中小企業DX促進事業」と改称 令和3年度

国の採択を得て、「いばらき県北地域ものづくりDX 令和5年度

コミュニティー構築事業」をスタート

― 県北地域に「DXコミュニティー」を創り、

「持続可能なDX」の環境整備をめざす





☆ ■ DX (デジタルトランスフォーメーション) とは…

DX ··· Digital Transformation (Trans≒X)

経済産業省の定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズ を基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、 企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

HITSのDX事業

「DXは自分達で!DIYで持続可能な未来をつくる!」「デジタル技術を駆使したカイゼン活動」

「ものづくり」の中小企業において、デジタル技術を駆使し、<u>新たな価値</u>を創造する「<u>動機**づけ**</u>」を

行う。

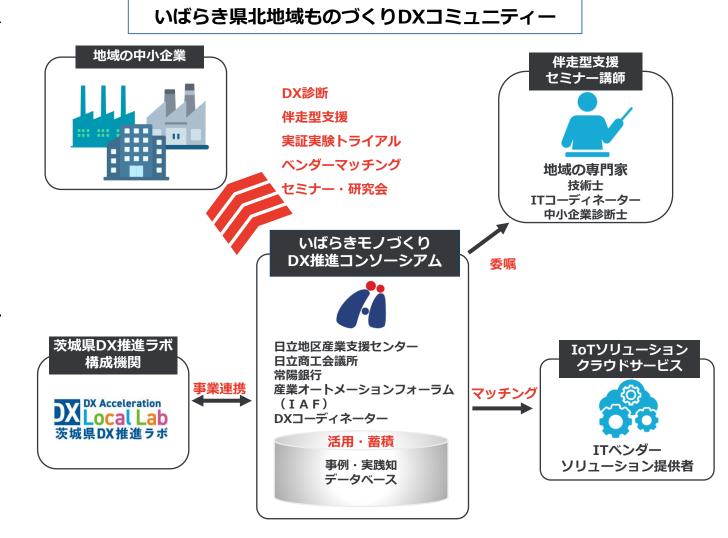
情報共有 見える化 技術伝承 品質向上 生產性向上 etc.



利益率向上 売上増加 社員満足度向上…



- ➤ HITSが代表機関となり、コンソーシアム を結成。
- ➤ 茨城県DX推進ラボの構成機関とも協力 体制を構築
- ▶ 伴走型支援やセミナーの講師に、地域の 専門家を委嘱。
- ➤ DXのソリューションとして、ITベンダー とのマッチングも実施。
- ▶ これらの体制を構築した上で、地域の 中小企業に、全方位的な支援をめざす。

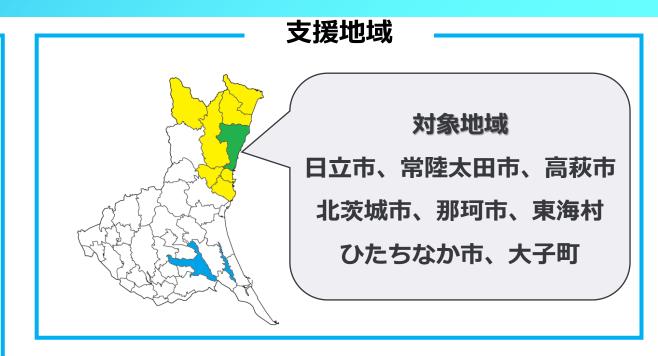




事業概要

☑ 課題分析・戦略策定の伴走型支援

- ・自社の状況を分析、課題の明文化、DXの方向付け、 計画・構想、実証実験トライアル(PoC)までを、 伴走型で実施。
- ・**安価な汎用マイコン・モジュール、オープンソース** を活用し、中小企業に最適なツールを提供。
- ✓ DX推進に向けた、地域への啓発活動
- ・DX推進者のスキルアップのための、IoT、AI、 セキュリティ対策の勉強会
- ・「会社の困りごと」を深掘りし、真の課題発見、 課題解決手法を学ぶ各種ワークショップ
- ☑ 支援ノウハウの共有・横展開のしくみ構築
- ・知恵の宝庫となる、「事例」「実践知」のデータ ベースの構築
- ・IoT、DXに触れられる「体験スペース」の構築



コンセプト

内製型(DIY型)DX

実証実験トライアル

オープンソース

汎用マイコン・モジュール

地域エコシステム構築



◆ □ DX件走型支援の進め方

まず自社の状況を分析し、課題の「明文化」を行い、ターゲットとなる業務・部門を決定。

その上でDXの方向づけ、計画・構想、実証実験トライアル(PoC)までを、伴走型 (ワークショップ形式)で支援します。

Step0 ヒアリング

ものづくりDX推進コンソーシアムチームのメン |バーが訪問し状況をヒアリングします)

Step1 DX診断·IoT導入診断 ワークショップ

(1~2日) 程度

事業変革DXに向けた診断・自社分析(as is) |課題明文化、ありたい姿(to be) |DX推進戦略策定(持続可能化、内製化 含む)

Step2 課題分析、課題解決構想 ハンズオン

(3~4日) 程度

|課題解決システムの構想、計画設計 ツール・ソリューションの選定(マッチング) |検証プロジェクト立ち上げ

導入トライアル・概念検証 Step3 ハンズオン

ツール導入トライアル (検証用機材・ツールや貸与) (6~7日)程度 |効果、可用性、安全性(セキュリティ)の検証

公益財団法人 日立地区産業支援センター



雌 地域への啓発活動

HITSでは、DXに関連する各種セミナー、勉強会、見学会を随時行っています。 みなさまのご参加をお待ちしています。



真の課題は何?







「体験スペース」の整備

HITSの2階「研究開発室」を、IoTやDXを体験できる「体験スペース」として整備中です。またここで、各種セミナー、勉強会も開催しています。 ぜひDXを体験しに、HITSに足を運んでください。









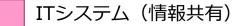




₩ DX伴走型支援 支援企業

No.	企業	テーマ	主なツール・キーワード
1	O社(日立市)	外観検査への画像認識AIカメラの導入	機械学習、学習モデル、Node-RED
2	D製作所(日立市)	モータ保守・見守りサービスへの事業変革	音響センサ、マイコンモジュール
3	D社(日立市)	溶接作業の見える化	電流センサ、ミニPC、Node-RED
4	T社(那珂市)	設備稼働監視・電力使用量の見える化	加速度センサ、マイコンモジュール、Node-RED
5	I電子(ひたちなか市)	社内情報共有「報・連・相」システムの構築	Nextcloud、kintone、Node-RED
6	E社(高萩市)	工程間の情報の流れのIT化	(ツール検討中)
7	I製作所(日立市)	ベテランのノウハウの形式知化、見える化	kintone、ものづくりコネクト、Node-RED
8	A社(日立市)	日課票システムを使ったST管理	Node-RED、タブレット、ミニPC
9	K社(日立市)	工程間の情報の流れのIT化	(ツール検討中)
10	S社(常陸太田市)	アルミダイカストの作業条件の見える化	熱電対、環境センサ、ミニPC、Node-RED
11	M社(常陸太田市)	工程間の情報の流れのIT化	(ツール検討中)
12	K電機(大子町)	消耗品の在庫管理のIT化	Kintone、ミニPC、Node-RED







♠ □ DX伴走型支援 支援事例 1

T社:設備稼働監視・電力使用量の見える化



- ①複数ある機械設備の稼働状況を把握したい。
- ②設備停止の時間を減らし、生産量減を避けたい。
- ③設備の稼働率、余剰能力を定量的に把握したい。
- 生産効率、生産能力の把握
- ①電力使用量を契約容量内に抑えたい。
- ②もし超過したら即座に把握し、対策を講じたい。
- 電力コスト削減





₩ DX件走型支援 支援事例 1





置くだけ!





機械設備の稼働時の振動・衝撃を検出

- 機械の振動を加速度センサーで検出
 - 稼働状況を認識





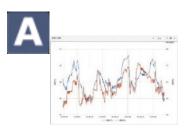
- 主要な電気系統の電流値を計測
 - 計算で電力使用量を算出 ※CO₂排出量も算出可













①現場モニタに表示

②稼働ログの解析

3Ambientにアップロード

IoT可視化クラウドサービス

④稼働状態をLINEに通知



₩ DX伴走型支援 支援事例 2

I電子:社内情報共有「報・連・相」システムの構築



- ①ノウハウは書いた個人のメモ(個人が保管)
- ②品質記録は手書き文書、有効に活用できていない。
- ③顧客からの図面に手書きチェックの運用。 紙がなくならない。
- ④パッケージソフトを導入しようとするとコストが 合わない。
- アナログな情報のデジタル化。 情報の一元管理を簡単に安く行いたい。



- ✓ ローコードツールであるkintoneを導入し、 自分たちにあったアプリを<u>自ら作る</u>。
- ✓ (ついでに) 若手の<u>IT担当者を育てる</u>。

ノーコードで業務アプリをつくろう (cybozu.co.jp)



₩ DX伴走型支援 支援事例 2

ところが、ここで問題発生!



kintoneには、「ファイルのリンク」と いう機能もあるが、クラウド内にある

ファイルでないとリンクが貼れない…

※社内サーバーのファイルのリンクは できない。



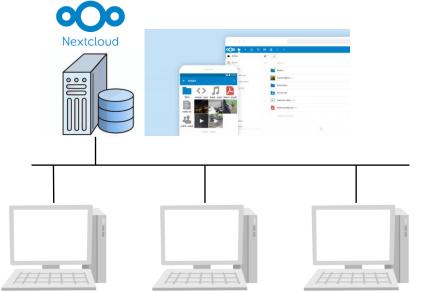
解決策

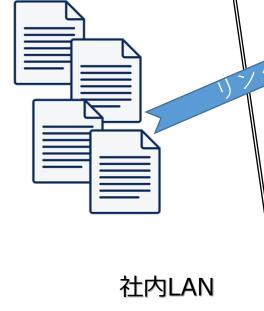
社内LAN内に、オンプレミスサーバーを立ち上げ、

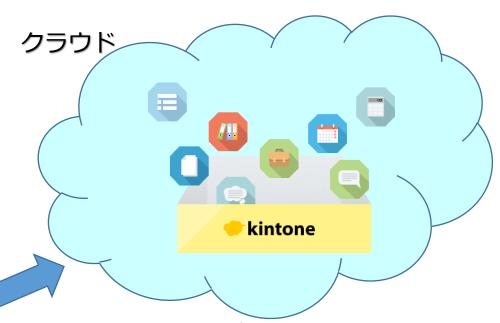
<u>オープンソースソフトウエアの「Nextcloud」</u>を導入。

社内LAN内のファイルを、あたかもクラウド上にある

ように扱うことができる。







Kintoneのアプリ内では、IPアドレスで 始まるリンク先を記述するだけ。

ファイル本体は社内のサーバーに置いた まま、kintoneを使用できる。



◆ □ DX件走型支援でよく使うツール

センサー



熱電対

装置内や金型、炉など 温度検出(比較的高温) 【作業温度の計測】



環境センサ

周囲の温度、湿度、 気圧を計測 【作業条件の計測】



CTセンサ

電力線の周囲の磁界を検知 電流値を測る



【電流値、電力量の計測】



カメラモジュール マイコンやミニPCと

接続、対象物を撮影 【外観、状態撮影】



赤外線距離センサ

赤外線の反射光を利用 した距離センサ 【物体検出・距離測定】



加速度センサ

移動する物体の加速度 を計測

【速度・振動計測】

マイコン・ミニPC



M5Stack / M5Stick

WiFi、Bluetoothを内蔵 加速度センサも内蔵 (センサとしても使用可)



Raspbrry Pi / ≡=PC

LinuxやWindows対応 WiFi、Bluetoothを内蔵

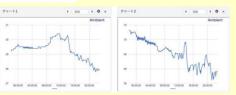
プログラミング・クラウド



Node-RED

オープンソース、ローコードの プログラミングツール

Ambient



Ambient IoTデータの可視化サービス



kintone

サイボウズ㈱が提供するクラウド型 業務改善プラットフォーム



◆ Ⅲ DX伴走型支援で得られるもの

①自社にあったシステムを、安価に構築できる。

②自社の業務内容を見直すきっかけを得られる。

③得られた結果(各種データや知見)が、将来の戦略に活かせる。

④DX伴走型支援を通じて、社員のリスキリングを図ることができる。



◆ Ⅲ DIY型DXに臨むための「覚悟」

- ・DIYなだけに、失敗や紆余曲折はつきもの!
 - → 思い通りに動かないことはしょっちゅうある。
- ・コスト・信頼性・品質を見極めて、ツールを選択!
 - → 重要なセンサなどには、それなりの対価を支払う!
- 「専門家が何とかする」とは思わないこと。
 - → 自分で調べる、創るクセをつける!
- ・「担当者任せ」はだめ、経営層も関与する!
 - → DXを経営に活かすかどうかは経営層の仕事!



♬ イベントのお知らせ

第4回 ものづくりDX研究会 日立ハイテク マリンサイト見学会

日時 2月28日(水) 14時~16時

場所 (株)日立ハイテク マリンサイト

茨城県ひたちなか市新光町

申込先 HITSのHP内の申込サイトにて

令和5年度 中小企業DX促進事業事例報告会

日時 3月中旬

場所 日立地区産業支援センター
大研修室

申込先 HITSのHP内の申込サイトにて



【主な特長】

- ◆ DX推進による高効率・安定生産体 制の構築と製品・ソリューション 開発環境の充実
- ◆ 再生可能エネルギーによる運営で CO。排出ゼロ、脱炭素社会の実現に 貢献
- ◆ 新入社員主導のプロジェクトに より屋上に巨大QRコードを作成





ご清聴ありがとうございました。